

# 令和3年度 事業計画書

## 1 運動推進の基本的考え方

東京のあすを創る運動は、昭和30年代初めに「新生活運動」としてスタートを切り、都民自らの創意と活力を結集して生活課題や地域課題を解決し、安心していきいきと暮らせる地域社会の実現を目指し運動を進めてきた。また、40年代からは、生活学校運動・生活会議運動を中心に展開し、身近な生活課題・地域課題を的確にとらえ着実に取り組み、明るく住みよい地域社会の実現に向けて大きな役割を果たしてきた。一方、地球規模の環境問題、少子高齢社会の進展に伴う医療・福祉・教育問題など、次世代を見据えて緊急に取り組むべき課題も山積している。

しかしながら、運動の主体である生活学校・生活会議において、構成員の新陳代謝が思うに任せず、メンバーの高齢化、それに伴い活動の休止、停止が多くなってきている。これらの課題解決のためには、何か社会に役に立つ活動をしたいと考える人が確実に増え、地域への関心の高まりが見られることを捉え、東京都全域での様々な地域貢献活動を調査して、それら多様な団体との連携を深め、新たな運動を目指していくことが必要である。

こうした状況にあって、令和2年度は次の項目に重点を置き運動を推進する。

- 1 安全な・活力あるまちづくり、子育て環境の整備、高齢者の医療・福祉や健康づくり、自然環境の保全・学習、省資源・省エネルギー・資源再利用、食の安全確保など多岐にわたる課題への取組んでいる団体に対して新たな支援を行う。
- 2 広報活動を一層充実して、運動の普及・発展を図る。
- 3 東京都内全区市町村との連携を図り事業を推進する。

## 2 事業

### 第1号事業 啓発普及及び表彰

都民及び活動関係者を対象に、運動に対する啓発普及・振興を図るため、運動推進大会の開催、功労団体等の表彰を行う。

事業名	実施時期	実施会場	対象者	摘要
1 東京のあすを創る運動推進大会	2月	消費生活総合センター	活動関係者 都民	活動関係者、都民を対象に講演等を行い今後の運動推進に資する。
2 功労団体等表彰			団体等	活動の振興に永年功労のあった団体等に対し、協会が表彰する。

### 第2号事業 調査研究および資料の作成頒布

活動の普及と活動団体の質的向上を図るため、生活学校・生活会議等の活動情報及び調査研究情報並びにPR資料等の作成配布を行う。

事業名	実施時期	内容等	摘要
1 機関誌「ふれあい東京」の発行	9月・3月	回数:2回 部数:各1000部	広く活動をPRするため、活動の生き生きとした情報を提供する。
2 調査活動	年度間	社会的な課題の中から地域活動の実態調査を実施する。	推進大会等の基本的な資料とし、地域活動に役立てる。
3 ホームページ	年度間	様々な地域活動状況を発信する。	定期的に更新して内容を充実する。

### 第3号事業 シンポジウムの開催等

都民及び活動関係者を対象に、運動に対する啓発普及・振興を図るため、下記の各種集会を開催する。

事業名	実施時期	実施会場	対象者	摘要
1 都民フォーラム	11月	消費生活総合センター	都民 活動関係者	広く今日的社会的なテーマをとりあげ、活動の理解と普及を図るため講演等を開催する。
2 生活学校・生活会議 リーダー研修会				
代表者会議	6月上旬	消費生活総合センターほか	団体代表者等	団体の代表者が一堂に会し、運動推進について理解を深め、一層の普及拡大を目指す。
指導者研究集会	6月及び3月			活動リーダーを育成するとともに各団体間の連携を密にし、活動の活性化を図る。
課題講習会 生活学校・生活会議総会後に実施。	6月～8月		課題に関心ある者	実践的な課題・テーマを取り上げ、活動リーダーの資質向上、技術等の習得につながる機会を提供する。
3 課題別研修会				
生活学校対話集会	10月	消費生活総合センターほか	生活学校メンバー 都民	生活学校の学習・活動成果を踏まえて、地域課題・生活課題の解決に向けた行政、企業など関係者との対話集会を開催する。
生活学校研修大会	1月		生活学校メンバー	対話集会の成果をふまえ、生活学校運動推進について協議し活動の拡充強化を図る。
まちづくりの輪を広げる集い	10月	公共施設	生活会議メンバー	まちづくりの課題の学習とともに、活動事例を交換し、生活会議の活性化を図る。

\*このうち、併せて実施される「事業説明会」について、日創協から助成

### 第4号事業 実践団体の活動に対する協力ならびに支援

(1) 生活学校・生活会議に対して各種の支援を行い、集団活動の活性化と、活動の拡大促進を図る。

事業名	内容等
1 生活学校支援	身近な生活課題解決の活動を展開する自主的な活動集団に対し支援を行い活動の拡大促進を図る。(1)活動費補助 21校 各20,000円 (2)運営相談 (3)資料情報の提供
2 生活会議支援	住みよい地域社会づくり活動をすすめる自主的なまちづくり集団の活動に対して支援を行い活動の拡大促進を図る。(1)活動費補助 58地区 各20,000円 (2)運営相談 (3)資料情報の提供
3 NPO法人等支援	組織的に地域活動を行っているNPO法人等に対して、定款、規約等に設けられている法人会員となり、その活動を支援する。 10団体 各20,000円
4 運動推進活動	運動の啓発・普及のため、活動団体への支援や各種活動を推進する。活動関係者を対象に毎月(12回)「運動推進NEWS」を発行、最新の情報を提供する。

(参考)実践団体 3年度見込数

対象団体	団体数	前年度	増減
生活学校	20	21	-1
生活会議	58	58	0
NPO法人	10	2	+8
計	89	81	+8

(2)活動の振興・推進のために、各種団体との連絡調整を図ると共に各種集会への参加協力を行う。

団体名	実施回数	会場	摘要
生活学校連絡協議会	年間12回	協会事務所他	事業の活動推進、連絡調整、情報交換、対話集会・研修大会等の企画運営
生活会議連絡協議会	年間6回	協会事務所他	事業の活動推進、連絡調整、情報交換、まちづくりのつどい等の企画運営

あしたの日本を創る協会関連

事業・会議名	実施時期	会場等
生活学校・生活会議運動全国大会	未定	未定
関東甲信越静岡ブロック研究集会	未定	未定

第6号事業 その他必要な事業

(1)定款に基づく会議の開催

会議名	開催数	開催予定時期	審議事項
1 総会	年2回	令和3年 6月下旬(定時総会)	事業報告・決算審議
2 理事会	年4回	令和3年 4月下旬 令和3年 5月中下旬 令和4年 3月中下旬	6月総会案件決定 事業報告・決算審議 事業計画・予算審議
3 監事会	年1回	令和3年 5月上旬	事業報告・決算監査

\*理事会については、適宜決議省略方式により開催

## 令和3年度 正味財産増減予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	1,000	1,000
基本財産受取利息	0	1,000	1,000
特定資産運用益	0	1,000	1,000
振興基金受取利息	0	1,000	1,000
受取会費	350,000	0	350,000
個人会員受取会費	200,000	0	200,000
団体会員受取会費	150,000	0	150,000
受取寄附金	0	0	0
受取補助金等	24,989,400	2,776,600	27,766,000
東京都補助金	24,899,400	2,766,600	27,666,000
中央協会助成金等	90,000	10,000	100,000
雑収益	0	31,000	31,000
受取利息収益	0	1,000	1,000
雑収入	0	30,000	30,000
経常収益計	25,339,400	2,809,600	28,149,000
(2) 経常費用 事業費/管理費			0
役員行動交通費	0	100,000	100,000
給料手当	14,789,700	1,643,300	16,433,000
臨時雇賃金	50,000	0	50,000
退職金積立金(中退共)	648,000	72,000	720,000
福利厚生費	2,340,000	260,000	2,600,000
職員旅費	53,010	5,990	59,000
会議費	41,400	4,600	46,000
通信運搬費	495,000	55,000	550,000
消耗品費	209,700	23,300	233,000
印刷製本費	54,000	6,000	60,000
器材借上料	554,400	61,600	616,000
光熱水費	247,500	27,500	275,000
事務所賃借料	3,699,000	411,000	4,110,000
諸謝金	99,000	11,000	110,000
支払負担金	255,600	28,400	284,000
支払助成金	1,730,000	0	1,730,000
事務所諸経費	72,000	8,000	80,000
交際費	0	10,000	10,000
経常費用計	25,338,310	2,727,690	28,066,000
当期経常増減額	1,090	81,910	83,000
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
(2) 経常外費用			0
当期一般正味財産増減額			83,000
一般正味財産期首残高			14,361,496
一般正味財産期末残高			14,444,496
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			0
III 正味財産期末残高			14,444,496